

館長就任の挨拶

図書館長就任の挨拶



図書館長・豊橋図書館長

鄭智允

(地域政策学部)

TOYOHASHI

2024年10月から図書館長・豊橋図書館長をつとめることになりました地域政策学部の鄭智允です。2年間、どうぞよろしく願いいたします。

3年以上に及んだ新型コロナウイルス感染症が2023年の5月に感染症法上の5類に移行して社会全般における活動制限が大きく緩和されてから1年半が経ち、ようやく日常を戻しつつあります。大学図書館においても新型コロナの拡散防止のため利用制限を設けていた時期があったものの、本学のすべての図書館においては「知のインフラ」としての機能を果たすため、対面だけでなく非対面型の情報提供にも積極的に取り組んでまいりました。

また、2025年9月には豊橋校舎の図書館新棟が完成することになっています。現在の豊橋図書館の図書・資料及び外部書庫の130万冊に至る図書・資料を移設し、2026年4月には新図書館の開館が予定されています。完成までは少し時間を要することになりますが、皆様には少しずつ見えてくる新たな図書館の輪郭から、新たなキャンパス生活を想像していただきたく思います。

その一方で、現在、図書館は学内外の事情により変革のときに置かれていて、より大局的な視点からそのあり方を考える必要に迫られています。直面している主要な課題としては、施設を新設したとしても図書や資料の受け入れ数には依然として限界があり、今後は資料等の取捨選択作業が重要となります。また歴史的な円安による洋書・雑誌の購入のあり方も問われています。これらの課題を乗り越えるにあたっては大学構成員の知恵を出し合って議論する必要があります。

このように社会が流動するとき、本質を見失わないことが重要です。今後も図書館が学問の発展を導く場として、また学習・研究と交流の場としてのさらなる発展を試みる空間となるよう努めてまいります。愛知大学の図書館を利用するすべての人々が図書館という知の空間を快適に感じることを目指し、2年間の任務を果たしていこうと考えています。

図書館のあり方に関する重要な時期における図書館長の任は身に余る重責ですが、是非とも大学構成員皆様のご協力をいただきながら職務を全うしたく存じます。よろしく願いいたします。

名古屋図書館長就任の挨拶



名古屋図書館長

武藤明弘

(経営学部)

NAGOYA

今年1月に塩山正純先生の後任として着任し、この10月より引き続き名古屋校舎の図書館長を務めることとなりました、経営学部の武藤明弘です。

愛知大学の研究・教育活動を支える基盤であり、その研究・教育力を学内外に広く示す存在でもある図書館は今、ハードとソフトの両面で大きな変化の時を迎えています。

例えば、豊橋校舎では、2020年に決定された施設整備計画のもと、新図書館の入る新棟建設が行われており、2026年度のオープンに向けて工事が着々と進んでいます。そして、それに合わせる形で現図書館の改修も行われることになっており、リニューアルされた現図書館と新図書館の一体的な運用により豊橋校舎の図書館機能が飛躍的に強化され、ますます充実したものとなります。また、2012年の現名古屋校舎の立ち上げに際し、図書館や研究所の資料のうち五十数万冊がやむを得ず外部書庫に仮置きということになり、必要となったときに実際に見て調べられない資料がかなりあるという不便な状況が生まれました。そして、その解消が図書館全体としての長年の懸案事項となっていました。新図書館内に設置される書庫の利用によって、それらの資料の"里帰り"が実現し、大学所蔵のほぼすべての資料が図書館の中で実際に手に取れるという、本来あるべき姿に間もなく戻ることとなります。

社会における昨今の急激なデジタル化の波により、これまで紙媒体の資料が担ってきた知識や情報の流通は、デジタルの資料によるものへと変化してきていますが、デジタル資料のもたらす研究・教育上の恩恵は極めて大きいものがあり、その利用は今や当たり前のこととなっています。愛知大学では2019年度から重点研究プロジェクト「愛大の研究資源デジタルアーカイブとオープン・プラットフォームの構築」のもと、創立以来蓄積してきた貴重な資料のデジタル化が行われてきました。そして、図書館として、資料はそれを必要とする人に利用されてこそ価値を持つという考え方のもと、デジタル資料の収集、管理、提供を新たに加わった使命と捉え、同プロジェクトの成果を受け継ぐ形で、今春より、大学の豊かな学術資産を、それを必要とする皆さんに時と場所を選ばず利用いただけるよう、より総合的なデジタルアーカイブの構築に向けた活動をスタートさせました。

このような時期に身に余る役職を仰せつかり、光栄に感じると同時に責任の重さに身の引き締まる思いです。微力ながら全力で職務を全うする所存ですので、どうぞよろしく願いいたします。